

令和6年 府中市立保育所自己評価チェックシート実施結果

府中市立住吉保育所

【参考】公立保育所平均値

自己評価項目		はい	いいえ	特記事項	はい	いいえ
1	人権尊重	99.5%	0.5%	人権を尊重していくことは、常に意識して保育にあたっている。活動の中で、物事を強要しない声かけを意識しているが、個々の主体性を大事にしながら集団生活を進めていくのは難しい場面もある。一人ひとりの言葉に耳を傾けるだけでなく、個々の表情から気持ちを読み取れる様に心がけていきたい。	99.9%	0.1%
2	説明責任	95.0%	5.0%	保護者へ伝える際に、分かりやすく具体的に伝えることを意識している。また、普段より話しやすい雰囲気づくりを心がけ、日頃からのコミュニケーションを大切にしている。	99.1%	0.9%
3	情報保護	98.8%	1.2%	職員全員が研修を受け、意識している。また、個人情報の漏洩は、紙ベースだけでなく、個人が特定できるような話をする場所など、配慮するようにしている。	99.7%	0.3%
4	苦情解決	93.7%	6.3%	保護者からのご意見（苦情）は速やかに報告し、即対応（解決）するように心がけている。また、職場全体で共有することで、同じことを繰り返さないように一人ひとりが意識するようにしている。	98.6%	1.4%
5	保育内容	96.6%	3.4%	子どもの主体性という視点を意識し、個々に合わせた保育を心がけている。しかし、クラス数の多い中で、時間を区切って遊び場所を設定しているため、子どもたちが夢中で遊べる環境設定など難しさもあり、散歩や近隣の公園などの活用含め、引き続き職員間で話していきたい。	99.1%	0.9%
6	小学校との連携	89.5%	10.5%	小学校との交流が出来ていない中、要録を送付する際に子どもの様子を伝えている。今後交流が持てるよう、連携を図っていきたい。	97.9%	2.1%
7	健康支援	97.6%	2.4%	看護師を中心に、感染症発症時等は速やかに保護者へ周知するとともに、休み連絡があった時に情報提供ができるよう、職員間で共有している。	99.4%	0.6%
8	食育の推進	100%	0%	栄養士が中心となり、給食お手伝いや給食プロジェクトとして、苦手なものを美味しく食べるにはどうすればいいのか子どもたちと話し合い、進めている。	99.7%	0.3%
9	環境・衛生管理並びに安全管理	100%	0%	毎月、クラスごとに安全チェックリストやマニュアルに沿って、保育所内や園庭など保育所全体の点検を行っている。危険箇所や修繕が必要なところは確認し、速やかに改善できるよう対応している。	99.7%	0.3%
10	災害への備え	100%	0%	災害はいつ起きるかわからないため、いざという時のために、毎月、予告なしの避難訓練を実施している。いろいろな場面を想定し、子どもたちだけでなく、職員の危機管理意識に繋がっていると感じる。	99.7%	0.3%

自己評価項目		はい	いいえ	特記事項	はい	いいえ
11	子育て支援（保護者への支援）	92.9%	7.1%	保護者の気持ちに寄り添い、一人ひとりにあった対応を心掛けている。日頃から保育の様子など保護者と共有し、朝夕保育でもかかわるので、担当だけでなく保育所全体で支えていけるようにしている。	97.2%	2.8%
12	子育て支援（地域等への支援）	97.6%	2.4%	「はぐ」すみよしとの連携を、常に意識している。日々のひろば運営の中に、保育所行事があった際は関わったり、看護師や栄養士も専門性を生かして相談や、講座に参加して関わる機会を持っている。来年度に向けては、園庭開放の時間が早くなるので、在所児童がいる中で雰囲気や関わりが自然に持てるとよい。	97.3%	2.7%
13	要保護児童への対応	100%	0%	関係機関からの情報提供や、実際に不審なことを感じた際は書きとめ必要に応じて職員間で情報共有している。	99.3%	0.7%
14	特色ある教育と保育 （特別な支援を要する子どもへの対応）	100%	0%	保護者や関係機関と連携を密に行いながら、必要に応じた個々の発達に合わせた保育を行っている。	99.5%	0.5%
15	地域の実態に対応した保育事業	95.0%	5.0%	昨年度から、近隣にある少人数の私立園や「はばたき」の通園施設「すてっぷ」の利用児童と年長児が交流を行っている。お互いに良い刺激となり今後も交流ができるようにしていきたい。	95.4%	4.6%
16	研修	97.6%	2.4%	研修後のフィードバックを、研修を受けた職員とチーフ主任が中心となり、いろいろな工夫を凝らして行っている。楽しむことも取り入れながら参加することで、これからの保育に生かしていきたい。	98.8%	1.2%

自己評価チェックシートを実施しての振り返り

- ・住吉保育所は新しい施設ですが、0歳児クラス以外は2クラスずつあり、他の保育所に比べると児童数が多いため、園庭で遊べるスペースがとても狭いと感じています。そのため、屋上や遊戯室、近隣の公園を利用しながら時間を区切り、安全面や思い切りスペースが利用できるように遊び場所の工夫をしています。一方で、子どもたちが転んだり、友だちとの接触での怪我也多く、怪我を回避できる体づくりという点で、公立保育所全体と比較して少ないのではないかと感じています。今後については、散歩や鬼ごっこなど全身を使うことも意識しながら、静と動の動きのバランスを取り、心身ともに成長できるよう保育していきたいと考えています。
- ・近隣の小学校との交流が、コロナ禍以降行われていないことが課題としてあげられています。府中市では「幼保小の連携」が見直されていることも踏まえ、小学校と連絡を取り合い、特に年長児がスムーズに卒園後に小学校へ通えるよう、保育所の時期から小学校やできれば学童の雰囲気を知ることでも敷居を下げて小学校へ通えるように計画していきたいと考えています。
- ・住吉保育所は職員数がとても多く、コミュニケーションをとることが難しいと感じている職員が多かったため、昨年度からコミュニケーションをとる基本の「挨拶」をテーマに挙げています。今年度は「こころをこめて あいさつしよう」サブテーマは「思いやりの気持ちを大切に」「自分のことも大切に」です。人への気遣いだけでなく、自分のことを大切にこそ、心身共に健康になり心のこもったあいさつや、気持ちに余裕を持った保育ができると考えます。現状の中では難しいこともありますが、生活環境を整えることにもつながり、課題の改善に向け少しずつ進んでいると感じています。